ポーの村(むら)

撃ちそこなった
シカのことを
考えて
歩いていると
霧が出てきた
こんな季節には
めずらしい
カウル！
おーい
カウル！
パリッセ！
ウィリアム
カウル！
狩り仲間と
はぐれたらしい
初めての森だと
うろつくのも
危険だし――
まあいい
そのうち
はれるさ
あれは……
乳母に聞いた
昔話だったが
霧がはれると
べつの世界が…
神の守りを
うけた村があり
その村は一夜で
百年が過ぎる……と
…霧はふしぎ…
伝説がひそむ

さて　どちらが北だろう
そう　仲間たちとはなれてるはずはないんだが
ガサ！
撃ちそこなったシカだ！
ザッ

メリ！
ベル！

わたしは
グレンスミス・
ロングバート男爵だ
わたしは
まちがえて…
わたしは………
まさか
こんなとこに
子どもが……
エドガー
さま!?
……!
…弾丸を!

その時村人が現れなかったらわたしはほんとうに
この少年に殺されていた
お館へ…早く……
そのよそのおかたも…
その子は…
歩け！
いてついた星のように青い……
…なんという目をしているのだろう
…！

…バラ…!?
……バラ…!
よそのおかた どうぞ こちらに
あ! 待ってください …あの少女は 助かりそうですか? いい医者は館にいるんですか?
ご心配なく…
今上の部屋で手あてをしていますから…
心配なく? 心配だからついて来たし帰れないでいるんだ!
キズを負わせたのはわたしだし…
あなたがメリーベルさまの心配をなさる必要はございません
あなたはよそのおかたですから

…そのうち
あなたさまの
手を
おかり
するやも
しれません
ともあれ
お待ちに
なってて
ください
わたしは
サン・ダウン
城の……
バタン
…あの少年だ…
エドガー…
とかいった
ポキ！

……
メリーベルのようすは…?
まだわからない

…わたしはちゃんと責任をとるよ
使用人を呼んでほしいことづてをしたいんだ

わたしは友人の城へ招待されている身なんだサン・ダウン城のラトランド伯
狩りの最中にいなくなったので心配していると思うから
——このこの村にいるということを一言…

そんな必要はないメリーベルが死んだらあなたを殺す

メリーベルが無事ならあなたも無事に帰してあげる

バカな!

バカな…？
いったい……あなたになにがわかる！
あなたはメリーベルを撃ち殺そうとしたんだ！
天にも地にもたった一人のぼくの肉親ぼくの妹ぼくの愛を！
メリーベルのためにだけぼくは生きてるんだメリーベルのためにだけ！
あの子が小さな時からずっとずっと…
一番そばであの子を守って来たんだ！
責任をとると言ったね
とうぜんだろう！

どこへ行く？
村からは
出られないよ
村中みんな
この事件を
知ってるからね
あなたを出しゃ
しないよ
おばあ
さん
ハイよな
よそのおかた
…なにを
している
のかね
スープに
入れますよな

……
サン・ダウン城は
どの方向かね
ラトランド伯の

…聞いたことが
ありませんよな
この近くに
あるはず
なんだ！
そんなに長いあいだ
霧の中にいたはずは
ないんだから！

いったい
この村は
なんだ？
一本の麦も
豆もない！
一頭のウシも
いない
人の声も
しない！
だれが
統治して
なんで生計を
たててるん
だ？
このバラで
香料かジャムでも
つくっているの
か？

…ポーの村と
いいますよな

バラをつくって
生きてますよな
バラ？
このみごとな
赤いバラ
だけでか！

あなたは
よそのおかたですよな
この村には
この村の風習が
ございます
もう
何百年も
何百年も
まえから
ポーの村では
バラをつくって
生きて
来ましたよな

日が暮れます
お館へお帰りなされ
お一人で
村から出られやしませぬ

ポーの
……村……

…どうぞ
お食事を
ええ
メリーベルさまは
もちなおされ
ました

もちなおした！

ああ
あのキズでは
てっきり
助からないと
思ってたのに
どんなようす
…意識は？

今
奥さまと
お館さまが
つきっきりで
でも 明日には
なにもかも
よくなり
そうです

夕食は
スープだけ
パンも
ワインもなし
でも
とにかく
ほっとした
……

フ…っ
バダン
…メリーベル…!?

…おはよう
あなたは…
メリーベル？
はい
よそから
いらしたかた

昨日
わたしが
森の中で
…撃った
メリーベル？
もう…？
はい
まだすっかり
よくは
ありませんけど

どうか？
失礼
あ…
ただ…

信じられなくて
ふとふれてみたが…
少女の首すじには
もう　なおりかけた
弾丸のキズがあった

たしかにもう
なおりかけているのだ
……特異体質としか
言いようがない
あの召し使いの
言ってたように
——明日には
なにもかも
よくなった

ともあれ
わたしは生きて帰れるわけですね
はは…
息子が言ったことをまにうけられたんですか？　これはすなおなかただ

これはジャスミン？
バラですわ
…われわれは

すこし　古風で…かわった暮らしをしています
たしかに　古風な…
しかしその朝会ったエドガーの養父母だというこのポーツネル男爵夫妻は

…おちついた感じのいい声をもった人たちで…
ギク

少年の目の色はかわらなかったが
ずっと態度はやわらいでいた

メリーベル！

ああ そらそら 血が たりないのよ ……ベッドで やすんで いなけりゃ

わたしが

ご心配なく…… メリーベルの貧血は しょっ中ですの

まあ ほんとうに 大丈夫 ですわ

それより お帰りに なるんで しょう

嵐だよ

…こりゃ ひどい…
帰らなくて よかった
バラが ぜんぶ 散ってしまうね

明日は 晴れます
また咲きます 夏の嵐ですから 一晩で おさまるで しょう
そう 願いたいね …いい村だが

先祖伝来の 食事には なれないな バラのスープ だけとはね

帰ったら まずクリームの たっぷり はいった ティー
あつ切りの チーズに ステーキ メキャベツ 白パン ワイン ジャムのつぼ

オオ
オオオォ
……だれだ……！
エドガー！なにをしていた？

メリーベルは
弱っています
あなたはほんの少し
われわれに
血をくれなければ

血を…？
…神よ…！
わたしの血を吸ったのか？

新しい血はたくさんの生気をもっているから
わたしの血を吸った！

…バンパネラ
バラ
バラ
バラの咲く村――

極上の美
永遠の命
底知れぬ恐怖
知りえぬナゾ
伝説の中に
青い霧と
たそがれと闇の中に
しとどおちる血と
冷たい指と
ほほえみの中に
——それでは——
そんな資格はあなたにはない
どうぞ明日はお帰りください
人間として神のさだめられた数十年の命をまっとうしてください
…わたしもバンパ…ネラになってしまう——
フ…
妹とシカとまちがえて撃つような
ドジな人間をわれわれ不死の一族に？
…首に歯形があるだろう！
そんなヘタな吸いかたはしません
われわれは……

ほら
……こうやるだけでもわれわれに必要なあなたの生気を吸いとることができる
この指先から……
そうして……バラを枯らす
！
だが…光には弱いはずだ
鏡にも映らないニンニクと十字架に弱く
棺桶を住みかとし……ですか？
そう聞きもし本でも…
…ほんとにバンパネラなのか？
フ……
そういう名で呼びたければどうぞ
われわれは……ポーの一族
では…おやすみ
…どうぞ
ポーの一族……

森は昨夜の
嵐で
湿気をおびて
木のまから
しずくが光り

わたしを
送ってくれた
村人の姿は
すぐ消え
二時間後には
サン・ダウン城へ
帰りついた

グレン！
どこへ行って
たんだ！
二晩も！

すまない
道にまよって
近くの村に
とまって
たんだ
村だって？
それに嵐で
帰れなくて……
お茶をくれ

昨夜はたしかに
嵐だったけど
ボーの村？
そんな
バラの咲く村
なんて
この近くには
ないぜ
夢でも
見てたんじゃ
ないのか？

たしかに
この城の周辺を
さがしたが
そんな村は
なかった

――が
夢ではない

首すじに
血を吸った
うすい　アザのあとが
残っていたから

あの少年は　あのあと
少女に　わたしの血を
わけあたえたのだろうか

だれにする？

それ　これから決める

エド！

ね　おもしろい話を聞いたんだよ　きみの名…ポーツネルだったね

エドガー・ポーツネル

ああ

ルーイース ルイス！窓ぎわの席とっといてくれよ

わかった

そうだよ　それでもしメリーベルって名の妹がいでもしたら